※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　言語文化（第一学習社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気づき、伝統的な言語文化への興味・関心をしっかりと身に付けてください。
・話し合いや文章記述など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。積極的に参加するようにしましょう。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。また毎時間、提出課題を課します。しっかり取り組むようにしましょう。
・定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
【知識及び技能】
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
【思考力・判断力・表現力等】
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
【学びに向かう力、人間性等】

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	言語入門 ［教材］ 「宇治拾遺物語」 「枕草子」	a：古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。 b[読]：文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえようとしている。 c：文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。	小テスト及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察
	フォトレポートに表す ［教材］ ワークシート	a：。文学作品、または春の言葉や風物詩、伝統行事に関する題材を取り上げている。 b[書]：選んだ題材についてフォトレポートに表現する。 c：構成や描写を工夫しようとしている。	行動の観察 成果物の確認	行動の観察 成果物の確認	行動の観察 成果物の確認
二学期	物語を読む ［教材］ 「伊勢物語」 「竹取物語」	a：古文・漢文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。また、文章から我が国の文化を理解する。 b[読]：文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 c：文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	小テスト 定期考査	記述の確認 定期考査	行動の観察 記述の点検
	短歌・俳句に表す ［教材］ ワークシート	a：短歌・俳句の決まりを理解し、決まりに沿って作品を表現している。 b[書]：夏に関連した素材の良さや味わいを生かして、自分の感じたことや思ったこと、発見したことなどを短歌・俳句に表現している。 c：事物をよく観察し、自分なりの視点を探して表現しようとしている。	行動の観察 成果物の確認	行動の観察 成果物の確認	行動の観察 成果物の確認
三学期	人物像や心情について考える ［教材］ 「平家物語」	a：語句の意味や表現の特色について理解する。 b[読]：描かれている人物、情景、心情をについて主体的に考えたり想像したりしながら読んでいる。 c：人物、情景、心情などをどのように書き手が描いているのかを捉え言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	小テスト 定期考査	記述の点検 定期考査	行動の観察 記述の点検
	物事を批評的に捉える ［教材］ 「徒然草」	a：古文を読むことに役立つ、文法のきまり、仕組みを身につけている。 b[読]：文章に描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み深めようとしている。 c：文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。	小テスト 定期考査	記述の点検 定期考査	行動の観察

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・書くこと　…　（　10　）時間　（【古典】８時間　【近代以降の文章】２時間）

・読むこと　…　（　60　）時間　（【古典】４０時間　【近代以降の文章】２０時間）